

回想法センター 11月号

平成25年10月26日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5丁目9番地7
電話・FAX 0297-65-4443
e-meil pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

冬支度を急がねば

仲良くして行きたい

3年前、国際交流のイベントで知り合った韓国の金さんと食を通して話が弾み、金さんは回想法センターのボランティアを手伝うようになりました。今年の7月には、「食を通して世代間交流を実現したい」と、回想法センターのホームページを見てソウルから栄養士の朴さんが龍ヶ崎に回想法の研修に来てくれました。初対面ともは思えないほど話も弾みました。「往く言葉が美しければ、来る言葉も美しい」のことわざのように、いい笑顔は、相手の心に直接飛び込むようで、笑顔には心をつなぐ魔法の力があるようです。

しかし、現実には、歴史や領土でにらみ合い、「反日に、嫌韓に」「売り言葉に買い言葉」が応酬しています。でも、そうでもない人も多くいます。ノーベル文学賞の候補にもあがっていた韓国の詩人高銀さんが、3.11直後に韓国紙に寄せた「日本への礼儀」という詩の一部を紹介します。「あんなにも大事にしていたあなた方の家、みんな流れていった・・・、しかし日本は今更ながら美しい、決してこの不幸の極限に沈没せず、犯罪も、買占めも、混乱もなく、相手のことを自分のことと、自分のことを相手のことと思ひ・・・」。お隣の国です。こうした言葉が海峡を越えて行き来しないかな？

こんな辞書はいかがですか

「難読・誤読駅名の辞典」こんな愉快的な辞書もあるようです。全国津々浦々、読むのが難しい駅名が多くあり、辞書の著者の浅井建爾さんは一駅に10行程度の説明文を付けています。

辞書をめぐりながら30年ほど前、新入社員が今日は、「ホクシュンニチベ」行きの電車に乗ったと。話を聞くと「北春日部」で大笑いしたことを思い出しました。

関東に住人には「日暮里」「福生」「御徒町」など、馴染みの駅でも、関東以外の人には読みづらい駅名だと思います。北海道では、不思議な響きを持ったアイヌ語に由来する駅名が多いようです。関西の「放出（はなてん）」は、こんな駅名もあるの？読むことができません。そんな難しい読み方の駅名が辞書に838駅も紹介されています。

駅名（地名）には、その土地の風土や文化、伝説などから駅名が生れ、長い時間をかけて定着していったことが伺えます。読みづらいからと由来のある駅名を変えないでほしいものです。こんな辞書をめぐりながら、全国を旅してみるのはいかがでしょう？

11月の予定

回想ガイド

開催場所 歴史民族資料館

開催時間 13時30分～15時30分

開催日 1日（金）15日（金）、23日（土）

おしゃべりサロン

開催場所 龍ヶ崎市役所 元地下食堂

開催時間 14時～16時

開催日 11日（月）25日（月）

問い合わせ先

龍ヶ崎市回想法センター 電話 0297-65-4443